

第5章 資料編

- 1 計画策定の経過
- 2 温室効果ガス（CO₂）の算定方法
- 3 これまでのプロジェクトの実績
- 4 用語の解説



1 計画策定の経過

〔1〕草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会

本計画における重点アクションは、地域の地球温暖化対策に取り組む市民、事業者、団体、市で構成される「草津市地球冷やしたい推進協議会」の幹事会において検討いただきました。

＜幹事会名簿＞

役職	氏名	団体名等
会長	小林 圭介	(学識経験者)
副会長	奥 健次	草津市まちづくり協議会連合会
幹事	上田 恒章	(個人会員)
幹事	本江 宗明	(個人会員)
幹事	宮城 成和	環境文化総合研究所
幹事	廣嶋 恵子	草津市健康推進員連絡協議会
幹事	山崎 賢	草津市校長会
幹事	山本 悦子	草津市「小」エネルギー推進市民フォーラム
幹事	中島 美徳	草津市PTA連絡協議会
幹事	藤田 雅也	草津市役所
幹事	松尾 無我	草津商工会議所
幹事	古田 真吾 (～令和2年12月31日)	草津青年会議所
	中西 健太 (令和3年1月1日～)	
幹事	山田 貴子	NPO子どもネットワークセンター天気村
幹事	木村 兼久	ごみ問題を考える草津市民会議
幹事	中村 満 (～令和2年12月17日)	NPOびわ湖環境
	石山 利則 (令和2年12月18日～)	
オブザーバー	天野 孝志	滋賀県琵琶湖環境部温暖化対策課
オブザーバー	久保田 貢	滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

(協議会名簿順)

〔2〕草津市地球冷やしたい推進協議会 開催状況

本計画の策定にかかる経過は以下の通りです。

年月日	内 容
—	草津市地球冷やしたい推進協議会 総会（書面開催） ・計画の策定方法、スケジュールについて
2020（令和2）年6月30日（火）	第1回草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会 ・計画の策定の方針について
2020（令和2）年8月3日（月）	第2回草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会 ・計画の施策体系、重点アクションについて
2020（令和2）年10月22日（木）	第3回草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会 ・計画の施策体系、重点アクションについて
2020（令和2）年12月17日（木）	第4回草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会 ・計画（素案）について
2021（令和3）年2月15日（月）	第5回草津市地球冷やしたい推進協議会 幹事会 ・計画（案）について

2 温室効果ガス（CO₂）の算定方法

草津市の温室効果ガス（CO₂）排出量は、県域での排出量算定値をもとに、各種統計情報による案分等によって算定しています。

県域での算定方法の概要は次の表のとおりです。

部門および区分		算定方法
産業	農林 水産業	<ul style="list-style-type: none"> 農業：（「総合エネルギー統計」の農林業の燃料消費量（全国値））×（農業産出額の全国比）×（排出係数） 水産業：（「総合エネルギー統計」の漁業の燃料消費量（全国値））×（漁獲生産量の全国比） 電力：電力消費量（県調査データ）×（排出係数）
	鉱業	<ul style="list-style-type: none"> 燃料：（1995年時点の「石油等消費構造統計表」における県内の燃料消費量）×（鉱工業生産指数の伸び率）×（排出係数） 電力：電力消費量（県調査データ）×（排出係数）
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> 燃料：（「総合エネルギー統計」の建設業の燃料消費量（全国値））×（建築着工床面積の全国比）×（排出係数） 電力：電力消費量（県調査データ）×（排出係数）
	製造業	<ul style="list-style-type: none"> 燃料（都市ガス以外）：事業者行動計画書・報告書を集計し、県全体に拡大推計 電力：電力消費量（県調査データ）×（排出係数）+新電力事業者による供給量（事業所へのヒアリング等）×（排出係数） 都市ガス：（供給量（工業用））×（排出係数）
運輸	自動車	<ul style="list-style-type: none"> （近畿運輸局管内の燃料消費量）×（県内の自動車保有台数）／（近畿運輸局管内の自動車保有台数）×（排出係数）
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> 軽油：〔 {（JR西日本の旅客分消費量）+（JR貨物の軽油消費量計（全国））} ×〔（JR西日本の旅客分軽油消費量）／（JR各社の旅客分軽油消費量）〕 ×（県内のJRにおける電力消費量）／（JR西日本における電力消費量）+（信楽高原鉄道における軽油消費量）〕 ×（排出係数） 電力：電力消費量（事業者公表データ等）×（排出係数）
	船舶	<ul style="list-style-type: none"> 観光船：県内の消費量（事業所へのヒアリング等）×（排出係数） 特殊小型船舶（水上オートバイ）：（県内の登録隻数）×（燃料消費量原単位）×（排出係数）
家庭	<ul style="list-style-type: none"> LPG：〔（簡易ガス事業でのLPG販売量）+（世帯当たりのLPG購入数量）×（その他LPG世帯数）〕 ×（排出係数） 灯油：（世帯当たりの灯油購入数量）×（世帯数）×（排出係数） 都市ガス：（都市ガス供給量（家庭用））×（排出係数） 電力：電力消費量（県調査データ）×（排出係数） 	
業務	<ul style="list-style-type: none"> 燃料：（滋賀県の業務部門の業種別床面積）×（床面積あたりエネルギー消費原単位）×（排出係数） 電力：電力消費量（県調査データ）+新電力事業者による供給量（事業所へのヒアリング等） 都市ガス：（都市ガス供給量：商業用+医療用+その他公用） 廃棄物・水道業：エネルギー消費量（滋賀県） 	
廃棄物	一般廃棄物	（ごみ焼却量）×（プラスチック及び合成繊維くずの組成比）×（排出係数）
	産業廃棄物	（廃油・廃プラスチック類の総排出量）×（減量化率）×（排出係数）

草津市の温室効果ガス（CO₂）排出量を算定するための各種統計情報による案分等の方法は次のとおりです。

1. 産業部門

製造業（工場）、農林水産業、鉱業、建設業における燃料・電力の使用に由来するCO₂を算定しています。

（1）算定方法（農林業）

- ① 県域での農林業からのCO₂排出量を、「経済活動別県内総生産（名目）」の割合で、農業と林業を案分。
- ② 農業については、「経営耕地総面積」の割合で案分。
- ③ 林業については、「間伐実施合計面積」の割合で案分。
- ④ 農業、林業の案分値を合計。

（2）算定方法（水産業、鉱業、建設業）

- 県域全体の水産業・鉱業・建設業のCO₂排出量を、市町別の従業者数（水産業、鉱業、建設業）の割合で案分。

（3）算定方法（製造業）

- ① 報告書対象：「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」に基づき事業者から提出された事業者行動報告書におけるCO₂排出量を、該当事業所の所在市町に割り振る。
- ② その他：県域全体のCO₂排出量（製造業部門）と①の合計との差分を、市町別の事業所数（製造業）の割合で案分。
- ③ 「報告書対象」と「その他」を市町毎に合計。

2. 業務部門

事務所・ビル、商業・サービス業施設における燃料・電力の使用に由来するCO₂を算定しています。

（1）算定方法

- ① 報告書対象：「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」に基づき事業者から提出された事業者行動報告書におけるCO₂排出量を、該当事業所の所在市町に割り振る。
- ② その他：県域全体のCO₂排出量（業務部門）と①の合計との差分を、市町別の事業所数（非製造業）の割合で案分。
- ③ 「報告書対象」と「その他」を市町毎に合計。

3. 家庭部門

家庭における燃料・電力の使用に由来するCO₂を算定しています。自家用自動車からの排出は、運輸部門で算定しているため、家庭部門には含まれていません。

（1）算定方法（灯油）

- 県域全体の灯油からのCO₂排出量を、市町別の世帯数（補正※）の割合で案分。

※ 世帯数の補正：単身世帯は燃料消費量が少ないと考えられるため、0.5 世帯としてカウント。

(2) 算定方法（LPG）

- ①市町別の世帯数から都市ガス需要戸数およびオール電化推計世帯数を除き、LPG世帯数を算出。
 - ②LPG 世帯数から簡易ガス推計世帯数を除き、その他のLPG 世帯数を算出。
 - ③簡易ガス世帯数（補正※）とその他のLPG 世帯数（補正※）を算出。
 - ④県域全体のLPG からのCO₂排出量を、簡易ガスとその他のLPG に案分。
 - ⑤県域全体の簡易ガスおよびその他のLPG からのCO₂排出量を、それぞれ市町別の簡易ガス世帯数（補正※）およびその他のLPG 世帯数（補正※）の割合で案分し、市町別に合算。
- ※世帯数の補正：単身世帯は燃料消費量が少ないと考えられるため、0.5 世帯としてカウント。

(3) 算定方法（都市ガス）

- 市町別の都市ガス需要実績を基に算出。

(4) 算定方法（電気）

- 市町別の電気使用量を基に算出。

4. 運輸部門

自動車、鉄道、船舶における燃料・電力の使用に由来するCO₂を算定しています。自動車は、事業活動用と自家用を含みます。

(1) 算定方法（自動車）

- 県域全体の自動車からのCO₂排出量を、市町別の自動車由来CO₂排出量（環境省）の割合で案分。

(2) 算定方法（鉄道）

- 県域全体の鉄道からのCO₂排出量を、市町別人口の割合で案分。

(3) 算定方法（船舶）

- 県域全体の船舶からのCO₂排出量を、市町別の琵琶湖面積の割合で案分。

5. 廃棄物部門

廃棄物焼却場における廃プラスチック等を焼却することで発生するCO₂を算定しています。廃棄物の助燃用に消費される燃料由来のCO₂は、業務部門で算定しているので、廃棄物部門には含まれていません。

(1) 算定方法（一般廃棄物）

- 県域全体の一般廃棄物からのCO₂排出量を、市町毎のごみ焼却処理量割合で案分。

(2) 算定方法（産業廃棄物）

- 県域全体の産業廃棄物からのCO₂排出量を、市町別の製造品出荷額の割合で案分。

3 これまでのプロジェクトの実績

草津市地球冷やしたいプロジェクト（第1次）の実績

【*：延べ数】

重点アクション① 環境家族宣言 【指標：宣言者・宣言世帯数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(5年間)
初級（人）	2,176	2,791	1,909	1,930	1,407	10,213*
中級（世帯）	176	229	288	149	120	1,297*
上級（世帯）	149	79	52	55		
合計	2,501	3,099	2,249	2,134	1,527	11,510*

重点アクション② 省エネ家電等買換促進 【指標：キャンペーン取組店の割合】

	H20	H21	H22	H23	H24	(3年間)
電器商業組合 加盟店取組率		100% (13/13店)	100% (14/14店)	100% (14/14店)	重点アクシ ョン⑨に統合	100% (41/41店)

重点アクション③ ゴーヤーカーテン事業の普及【指標：ゴーヤー苗配布数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
家庭(世帯)	500 (1,500株)	500 (1,500株)	500 (1,500株)	500 (1,500株)	重点アク ション⑨ に統合	2,000* (6,000株)
公共施設(施設数)	77% (50施設) (615株)	80% (52施設) (829株)	72% (47施設) (631株)	78% (51施設) (599株)		77%(平均) (延べ64施設) (2,674株)
その他 (団体、事業所数)	4 (68株)	18 (823株)	16 (1,247株)	18 (1,204株)		56* (3,342株)
配布株数(合計)	2,183株	3,152株	3,378株	3,303株		12,016株

重点アクション④ 省エネ診断事業【指標：受診事業者数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(3年間)
受診事業者数		7	1	3	事業終了	11

重点アクション⑤ エコドライブ宣言【指標：宣言者数・宣言事業所数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
宣言者数		514人	1,122人	1,873人	0人	3,509人*
宣言事業所 認定数		10社 (187人)	5社 (967人)	4社 (1,502人)	0社 (0人)	19社 (2,656人)
講習会参加 事業所数		20社 (30人)	18社 (22人)	14社 (22人)	7社 (11人)	59社* (85人)

重点アクション⑥ ノーマイカー通勤運動 【指標：参加事業所数・参加人数】

期間	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	合計
参加事業所	12社	15社	16社	18社	17社	18社	18社	18社	22社
参加人数	67人	33人	41人	36人	38人	36人	40人	35人	126人
CO ₂ 削減効果 (kg-CO ₂)	▲1,722	▲1,399	▲1,691	▲1,702	▲1,802	▲1,740	▲1,839	▲1,733	▲13,627

重点アクション⑦ 太陽光発電システム設置促進【指標：設置世帯数・CO₂削減効果】

	H20	H21	H22	H23	H24	(5年間)
補助世帯数(累計)	55	170	297	297	297	
補助kW数(累計)	197.21	627.04	1121.36	1121.36	1121.36	
1kW当たり発電量(kWh)	1,101	1,080	1,121	1,098	1,098	
年間発電電力量(kWh)	217,128	677,203	1,257,045	1,231,253	1,231,253	4,613,882
CO ₂ 排出係数	0.355	0.294	0.311	0.450	0.450	
年間CO ₂ 削減量(kg-CO ₂)	▲77,080	▲199,098	▲390,941	▲554,064	▲554,064	▲1,775,247

重点アクション⑧ 緑化推進事業

○まちかどグリーン事業助成【指標：助成件数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(3年間)
助成件数		1件	0件	0件	事業終了	1件

○緑のまちかど事業助成【指標：助成件数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
助成件数		0件	0件	0件	事業終了	0件

○苗木配布【指標：配布団体数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
配布団体数		41団体	42団体	44団体	38団体	165団体*

重点アクション⑨ 啓発イベント・キャンペーンの実施【指標：啓発日数・啓発人数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
イベント日数		13日	11日	9日	6日	39日
推定啓発者数		3,100人	1,680人	2,753人	3,190人	10,723人*

重点アクション⑩ 地球温暖化対策普及啓発支援事業【指標：講師派遣件数・教材貸出件数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(4年間)
講師派遣件数		11件	10件	9件	8件	38件
教材貸出件数		13件 (26教材)	18件 (42教材)	46件 (105教材)	55件 (182教材)	132件 (355教材)*

重点アクション⑪ 学校における省エネ還元事業

○「クラスで取り組む節電アクション」*の実施支援および表彰【指標：参加校数】

※節電・節水・3Rなどに取り組む「スクールISOクサツ」の一環として、H23から草津市立教育研究所が実施。

<参加校数> 19小中学校(取組率100%)

○「節電取り組みコンテスト」*の実施【指標：応募者数】

※各家庭で行った節電の取り組みを絵日記(小学生)、作文(中学生)にして応募する。

<応募者数> 小1~3年生:56人、小4~6年生:54人、中学生:37人

<表彰> 各部門につき、最優秀賞1者、優秀賞2者、奨励賞3者

重点アクション⑫ どこでもエコアクション運動会事業【指標：開発プログラム数・利用件数】

	H20	H21	H22	H23	H24	(3年間)
開発プログラム数		3件	1件	1件	0件	5件
利用件数		4件 (6教材*)	5件 (9教材*)	8件 (14教材*)	8件 (23教材)	17件 (29教材*)

※上記は、重点アクション⑩の実績のうち、エコアクション運動会事業にかかる実績を抜粋。

草津市地球冷やしたいプロジェクト（第2次）の実績

重点アクション① 新しい暮らしを育むプロジェクト

①-1 くさつ・エコミュージアムの展開【指標】講座開催数（回）

H24	H25	H26	H27	H28	(4年間)
	19	16	16	13	64

①-2 低炭素学習および活動の企画・実施サポート【指標】支援件数（件）

H24	H25	H26	H27	H28	(4年間)
	95	136	128	107	466
	教材:48 支援:47	教材:57 支援:79	教材:48 支援:80	教材:51 支援:56	

①-3 くさつ・エコスタイルコンテスト【指標】参加者数（人/年）

H24	H25	H26	H27	H28	(4年間平均)
	47	155	134	435	193
	絵日記:44 家庭:3	絵日記:152 家庭:3	絵日記:132 家庭:2	絵日記:433 家庭:2	

重点アクション② CO₂の排出を抑えるプロジェクト

②-1 住宅用創エネルギー機器導入促進【指標】補助件数（件） EF:エネファーム、EW:エコウィル

H24	H25	H26	H27	H28	(4年間)
EF:43 EW:11	EF:46 EW:27	EF:53 EW:9	EF:59		EF:201 EW:47
▲66.0 t-CO ₂	▲84.6 t-CO ₂	▲77.2 t-CO ₂	▲76.7 t-CO ₂		▲304.5t-CO ₂

②-2 町内会防犯灯のLED化促進【指標】町内会防犯灯LED化灯数（灯）

H24	H25	H26	H27	H28	(3年間)
2,691	2,210	886			5,787
▲68.9 t-CO ₂	▲56.6 t-CO ₂	▲22.7 t-CO ₂			▲148.2t-CO ₂

②-3 中小企業節電対策等支援【指標】補助件数（件/年）

H24	H25	H26	H27	H28	(3年間平均)
	7	2	2		4
	▲50.4t-CO ₂	▲15.1t-CO ₂	▲44.1t-CO ₂		▲109.6t-CO ₂

②-4 自然の力の普及啓発

- ・ゴーヤー種子配布（H25：約500人、H26：約500人、H27：約500人、H28：約950人）
- ・エコフォーラム（H25：約180人、H26：約130人、H27：約140人、H28：約130人）
- ・風車視察（H25：3団体33人、H26：2団体7人）

重点アクション③ みんなで広めるプロジェクト

③-1 各種媒体・イベント等による情報発信【指標】ホームページ閲覧回数（閲覧回数/月）

H24	H25	H26	H27	H28	(4年間平均)
	1,288	4,351	4,869	4,947	3,864
	4-9月:1,880 10-3月:695	4-9月:4,379 10-3月:4,322	4-9月:5,215 10-3月:4,523	4-9月:5,141 10-3月:4,753	

③-2 地球冷やしたい推進協議会の活動推進【指標】協議会会員数（者）

H24	H25	H26	H27	H28	(H28)
68 [45]	69 [45]	69 [45]	71 [45]	71 [45]	71

[]は、愛する地球のために約束する協定締結者数

※①-3、②-3、③-1の指標値については、年平均値を用いている。

草津市地球冷やしたいプロジェクト（第3次）の実績

重点アクション① 賢く環境文化 人づくりプロジェクト

①-1 低炭素学習および活動の企画・実施サポート【指標】支援件数（件）

H28	H29	H30	R1	R2	(4年間)
107	97	74 (累計171)	86 (累計257)	48 (累計305)	305

①-2 温暖化防止コンテスト【指標】参加者数（人／年）

H28	H29	H30	R1	R2	(4年間平均)
438	806	819	1,499	1,481	1,151
絵日記：433 企業・家庭：5	絵日記：798 企業・家庭：8	絵日記：819 企業・家庭：-	絵日記：1,499 企業・家庭：0	絵日記：1,480 企業・団体：1	

①-3 イベント啓発【指標】イベントでの啓発者数（人）

H28	H29	H30	R1	R2	(4年間)
1,650	4,300	4,383 (累計8,683)	5,839 (累計14,522)	568 (累計15,090)	15,090

重点アクション② 賢く低炭素まちプロジェクト

②-1 エネルギー効率を高める機器の導入促進（家庭用蓄電池およびV2H設置費補助）

【指標】補助件数（件／年）

H28	H29	H30	R1	R2	(3年間平均)
	17	20	40		25

②-2 雨水タンクの利用促進【指標】補助件数（件／年）

H28	H29	H30	R1	R2	(3年間平均)
24	21	6			17

②-3 地元農産物・水産物の購入促進

【指標】地元の農産物・水産物を購入するよう心がけている市民の割合（％／年）

H28	H29	H30	R1	R2	(R2)
51.5 (農産物)	49.5	46.9	42.8	51.9	51.9
25.3 (水産物)	26.4	23.9	21.7	28.4	28.4

②-4 公共交通機関の利用促進【指標】まめバスの利用者数（人／年）

H28	H29	H30	R1	R2	(R2)
115,003	127,437	138,511	147,584	90,223*	90,223*

※2021（令和3）年1月31日時点

②-5 まちなみ緑化の推進【指標】植樹本数（本）

H28	H29	H30	R1	R2	(10年間)
46,541	50,003	53,684	62,889	66,998	66,998*

※2010（平成22）年～2021（令和3）年1月31日時点

重点アクション② 賢く協働プロジェクト

③-1 各種媒体・イベント等による情報発信

【指標】低炭素社会づくりに関連するHPアクセス回数（アクセス数/月）

H28	H29	H30	R1	R2	(4年間平均)
4,947	6,024	8,477	8,617	7,059	7,544

③-2 草津市地球冷やしたい推進協議会の活動推進【指標】協議会員数（者/年）

H28	H29	H30	R1	R2	(R2)
71 [45]	72 [46]	72 [46]	73 [50]	75 [52]	75 [52]

[]は、愛する地球のために約束する協定締結者数

4 用語の解説

【あ行】

愛する地球のために約束する協定

草津市では、地球温暖化防止に地域をあげて取り組むため、「愛する地球のために約束する草津市条例」を2008（平成20）年4月に施行。地球温暖化を防ぐため、市民・事業者・団体等が自ら進んでできる取組について、市と協定を結んでいる。

雨水タンク

建物の雨どいにつないで、屋根に降った雨水を貯めるタンク。雨水はガーデニングなどの散水や打ち水、災害時の生活用水などに利用される。また、大雨時に雨水を一時貯留し、河川への流入を抑制する効果もある。

SDGs

2015（平成27）年9月の第70回国連総会で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、国際社会全体が2030年までに達成すべき17の目標。

温室効果ガス

大気圏にあって、地表からの熱（赤外線）の一部を吸収し温室効果をもたらす二酸化炭素、メタンなどの気体の総称のこと。温室効果ガスが増加することが地球温暖化の主な原因とされている。

【か行】

緩和（気候変動の緩和策）

地球温暖化防止に向けた対策の一つ。地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を削減して地球温暖化の進行を食い止め、大気中の温室効果ガス濃度を安定させる対策。

グリーン購入

製品やサービスを購入する際に環境を考慮して、必要性をよく考え、環境に与える影響ができるだけ少ないものを、環境保全に熱心な企業から優先して購入すること。

COOL CHOICE（賢い選択）

地球温暖化対策のための国民運動を指す。国の温室効果ガス削減目標達成のために、省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資する、また快適な暮らしにもつながるあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組。

コージェネレーションシステム

石油やガスをエネルギー源として発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステムをコージェネレーションシステムという。ガスから水素を取り出し、酸素と反応させて発電する燃料電池のしくみを用いた、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムが近年普及し始めている。

COP21

国連気候変動枠組条約第21回締約国会議を指す。2015（平成27）年11月30日から12月13日まで、フランス・パリにて開催された。会合では、最大の焦点であった、京都議定書後における2020（令和2）年以降の気候変動対応にかかるあらたな法的な国際枠組みを定める「パリ協定」が採択された。

コンポスト

生ごみをはじめとする有機物を堆肥化して土に還元する循環システムの一つで、微生物の働きによって発酵を促進するもの。また、生ごみ等から堆肥を生成する際に用いる容器をコンポストと呼ぶ場合もある。

【さ行】

再生可能エネルギー

太陽光や太陽熱、水力、風力、バイオマス、地熱などを一度利用しても比較的短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのこと。

サンゴの白化現象

サンゴに共生している褐虫藻が失われることで、サンゴの白い骨格が透けて見える現象。白化した状態が続くと、サンゴは共生藻からの光合成生産物を受け取ることができず、壊滅してしまう。

ZEH（ゼッチ：net Zero Energy House）

省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、1年間で消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下となる住宅のこと。

全層循環

湖などの閉鎖された水域環境において、冬季に表面の水が低温・高密度になって下降し、湖底の水と入れ替わる現象。全層循環によって、湖全体に酸素が供給される。

【た行】

脱炭素社会

温室効果ガス的人為的排出と吸収の均衡が達成された社会のこと。

低炭素社会

温室効果ガスの最終的な排出が少ない産業・生活システムを構築した社会のこと。

適応（気候変動の適応策）

地球温暖化対策の一つ。気候の変動やそれに伴う気温・海水面の上昇などに対して人や

社会、経済のシステムを調節することで影響を軽減する対策。

t-CO₂

温室効果ガスの発生量を表す単位。地球温暖化係数の異なる6つの温室効果ガスを二酸化炭素基準で換算して重量で表したもの。

【は行】

ハザードマップ

災害が起きたときの浸水想定区域や土砂災害危険予想箇所をはじめ、地域で想定される危険箇所や避難所までの避難経路などの情報を地図上に表示したもの。

パリ協定

2015（平成27）年11月から12月にフランスのパリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）で採択された気候変動に関する国際条約。

PDCAサイクル

PLAN（計画）、DO（実行）、CHECK（評価・点検）、ACTION（改善）を繰り返すことで、計画の実効性を高める考え方です。

HEMS（ヘムス：Home Energy Management System）

一般家庭で使用するエネルギーを管理するシステム。家電や電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、家電機器を「自動制御」したりするもの。

防災マップ

災害時の避難行動や初期消火、救助活動に役立つ情報を地域の協力のもと地図情報にまとめたもの。